

五木食品株式会社 荒尾工場

高森興産(株)として創業し、60年にわたり丹精込めて製造した商品は地元の味としてすっかり定着。令和元年に五木食品(株)荒尾工場となってからも味を守り、海外でも人気です。今回は中堅でがんばる緒方さんにお話を聞きました。



Profile

おがた たけひと
緒方 健人さん
(29歳)

2016年5月入社
宇城市出身
熊本学園大学卒

「何度でも食べたくなる
メイド・イン荒尾の味を」

何をしている会社？

この地で素朴な味を追求してきた荒尾工場の食品は、ロングランを続けるなじみの商品ばかり。発売から50年以上愛されているマルメイナポリタンをはじめ、焼きそば、うどん、粉末液体スープやところてん、さらには寒天やデザートまで、いつもスーパーの店頭に並んでいる多彩なラインナップがわが社の自慢です。

販売エリアは沖縄から北海道まで、さらにアジアやアメリカを中心に海外にも展開。美味しい、安全な商品を世界に届けています。

この会社を選んだ理由は？

子ども時代、お弁当によくマルメイナポリタンが入っていました。大学時代はアベックラーメンばかり食べていましたし、当社の味にはずっとお世話になっていたイメージです。そんな親しみと安心感から、この会社で働きたいと思い、入社しました。

現在の業務は？

当初からスープ部門で粉末や液体の原材料を調べています。分量の正確さはもちろん、製造は段取りが命。現場の業務を細かく時間配分し、スムーズに進むよう工夫を重ねています。10月からはサブリダーを任せられるようになり、自分の持ち場だけでなく全体の流れの把握にも努めています。

職場の雰囲気は？

スープ部門は少人数の部署ですが、力仕事で工程数が多く、最初は大変でした。でも先輩方が細かくサポートしてくれたので、早く作業に慣れることができました。また、「残業を出来るだけしない」が工場の基本方針なので、アフターファイブに先輩と出掛けたりして、楽しみも多そうですね。

やりがい？ 目標は？

やっぱり苦労して作った商品が店頭で並んでいると、とても嬉しいです。今後は現場だけではなく、より広い視野で学びを深め、愛される荒尾の味を盛り上げていきたいです。



なつかしいあの味!



管理職の言葉

グローバルに活躍できる人材に

統括次長 熊丸 嘉隆さん

緒方さんはとても聡明で明るい性格なので、みんなを上手にまとめてくれています。根が真面目ですし、伸びしろを感じますね。今後は全体の業務を把握し、ゆくゆくは会社の中心としての活躍を期待しています。

採用試験は筆記と面接です。当社は日本のみならず、海外まで幅広く展開していますので、大きな展望を持って、がんばれる人材を待っています!



会社概要

【荒尾工場】荒尾市増永2800番地2 ☎64-1111

- 製造業
- 従業員数 61人(内正社員31人)
- 資本金 9,500万円
- 事業内容 食品の開発・製造・販売など
- 年間休暇日数 105日
- 有給休暇平均取得日数 11日
- 採用実績 (採用年度:新卒)
H30:3人 R1:1人 R2:0人
R3:4人 R4:4人予定

